

# みちの会だより



お天気の定まらない季節となりました。皆様もお元気でご活躍のことと思います。  
9月の全体会でお会いできることを楽しみにしています。

つながれっとNAGOYAの様子からお知らせします。

平成19年6月24日(日)につながれっとNAGOYAにて開かれたつながれっとまつり2007に参加しました。みちの会の参加は36名です。

テーマ「チャレンジ・チャレンジ・チャレンジ」～夢に向かって可能性を発見しよう!～です。  
基調講演には講師として中京女子大学学長の谷岡 郁子(タニオカ クニコ)さんをお迎えして  
演題「出すぎたクイは打てない」でお話いただきました。

お話の内容は32歳で「職員の長」ではなく「学生の長」になろうと学長になることを決断した時、学長を続けながらシングルマザーになることを選択した時、いつも自分で考え、自分で決めてきた。

何時でも自分用の物差しで計ることが大切。

男は立場で決めるため、最初から通る意見が決まっている(名刺ジャンケンが好き)

女は話して決めるから、変わることができる。

女と男の物差しのバランスが取れている社会が男女共同参画社会。

叱咤するだけの競争社会では疲弊してしまい、続かない。

支えあい、補いあい、高めあうことで社会は続く。

など時間があればもっと聞きたいわかりやすく、さわやかなお話でした。



講演後はワークショップ（4つのグループ）で話し合いをしました。

＊ グループ1 政策決定の場へのチャレンジ（9名）

政治は特別なものではなく身近なものとして関心を持つ

おかしいと思うことは諦めずに言い続ける。

議員になって発言していく

＊ グループ2 NPO組織化（法人化）と仕事へのチャレンジ（9名）

ボランティアとの違いは？ 非営利団体活動であるが、収益を上げて良い。

資金集めの苦勞？ どのような事業展開をしていくか。

市の対応 助成から協働へ。

＊ グループ3 趣味をきわめて（10名）

自分にあったものを見つけ、活かす事ができる喜びを実感。

＊ グループ4 資格を取って（8名）

講座を受けたことがきっかけで資格を取った。

取ることにより、仕事を得られ、社会参加できる。

次世代を導き、次世代に還元することが大切。

参加者は36名ですが、各グループとも活発な意見交換がなされたため、意見を模造紙に書く時間を削ったのにもかかわらず、発表時間が不足気味でした。駆け足での発表になり、もう少し時間の余裕があればとの反省もありました。

（ワークショップの風景です。）



## 今後の活動予定

- \*平成19年9月21日(金) 東海市文化センター 2F 視聴覚室  
第3回全体会・研修会 午前10時～午後3時  
講演 「なぜ 男女共同参画社会推進条例が必要なのか」  
講師 愛知教育大学教授 山田 綾 氏
- \*平成19年10月16日(火) 東海市しあわせ村 3F 第1講義室  
名古屋市・知多5市5町 議員と語る会 午後1時30分～4時  
目的 「男女共同参画社会」現実に向けて、各市町で取り組むべき課題を共有する  
ために語り合う。
- \*平成19年11月24日(土) ウイルあいち セミナールーム1・2  
第4回全体会・研修会 午後1時30分～4時30分(ウイルあいちフェスタ参加)  
「チャンス・チャレンジ・チェンジ」～夢を実現するには～  
基調講演・グループワーク
- \*平成20年1月23日(水) 南知多町総合体育館  
みちの会フォーラム  
基調講演・調査発表・パネルディスカッション
- \*ブロック会は適宜実地

### \*実態調査活動

男女共同参画社会推進条例に関する調査を行政単位とする。条例のある市町、  
ない市町それぞれの問題提起を考える。

### \*交流会

他団体との交流、地域実践活動交流協議会の事業に参加する。

### \*その他

- ・あいち国際女性映画祭2007 (9月5日～9日)
- ・平成19年度「尾張地区生涯学習男女共生フォーラム」  
半田市福祉文化会館(雁宿ホール)9月8日午後1時～4時30分

会員の皆様の声などお聞かせください。待っています。

発行責任者：松本 妙子 (0569-62-0425)

編集 委員：戸田 幸子・榊原 志のぶ